

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	川越まつり会館運営管理					継続				
コード	57	-	23	-	03	-	00	予算事業名	川越まつり会館運営管理	
担当部署	産業観光部	観光課			川越まつり会館	予算事業コード	会計 10	款 07	項 01	目 04

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	4章 にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち	根拠となる法令、条例等	川越まつり会館条例 川越まつり会館条例施行規則
方向性(節)	2節 観光による地域振興	個別計画等の名称	なし
施策	1 新たな観光事業の推進		
細施策			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民および観光客全般を対象に、川越市最大のお祭りである川越まつりに関する知識や教養の向上を図るとともに、観光及び商業の活性化に寄与するために実施する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	川越まつり会館の運営、山車の展示替え、囃子実演の開催、川越まつり研修会の開催。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		80,282	70,393	70,886	69,055	64,041	
事業費	A	78,324	67,677	68,166	63,906	64,000	64,000
	B	8,320	8,320	9,250	7,400	7,400	7,400
総コスト(C=A+B)		86,644	75,997	77,416	71,306	71,400	71,400
正規職員(1年間の従事人数)		1.00人	1.00人	1.25人	1.00人	1.00人	1.00人
臨時職員(1年間の従事人数)		1.00人	1.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	20,078	25,264	16,731	13,909	23,089	23,089
市の財政負担(=C-D-E)		66,566	50,733	60,685	57,397	48,311	48,311

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	入館者数	人	106,969	120,680	92,656	87,047	川越まつり会館への入館者
成果	囃子実演観覧者数	人	12,830	16,156	11,409	10,161	囃子の実演を観覧した人数
活動	施設開館日数	日	337	337	337	337	川越まつり会館の開館日数
活動	囃子実演回数	回	130	130	120	118	日曜、休日に1日2回行う囃子実演の回数

中心指標の考え方 本事業は、成果指標を中心に評価する。

指標に基づく評価 東日本大震災の影響もあり、入館者数は平成21年度をピークに減少傾向にあるが、事業の目的を達成するために、引き続き努力する必要がある。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
実施にかかる総コストは大幅に減ってきているが、事業の実施方法等を見直し、限られた予算で最大の効果をあげていく必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
他市の類似施設でも、入館者数を増やす方策等について課題がある状況である。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
川越まつりに関する知識や教養の向上を図る中核施設を失うこととなり、結果として、観光や商業の活性化にマイナスの影響を与えることとなる。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
入館者数を増やす取り組みは、継続的に実施していく必要がある。現在実施している入館促進対策についても、効率性の視点等から必要があれば見直すとともに、常に新たな対策を考えていく必要がある。	